

東成区の防災

～地域防災フォーラムを踏まえて～

平成23年8月31日

東成区役所

東成区地域防災フォーラム開催実績

本庄中学校

- 平成23年6月18日（土） 14：00～15：30
- 地域住民参加者数 140人

相生中学校

- 平成23年6月19日（日） 14：00～16：20
- 地域住民参加者数 125人

玉津中学校

- 平成23年6月25日（土） 14：00～15：40
- 地域住民参加者数 58人

東陽中学校

- 平成23年6月26日（日） 14：00～15：45
- 地域住民参加者数 80人

片江小学校

- 平成23年6月26日（日） 9：30～12：00
- 地域住民参加者数 220人

参加者アンケートの結果

参加者の年齢構成

- 60歳代以上の男性74.6% 女性68.6%

参加者の職業構成

- 無職・その他 男性58.2% 女性73.5%

区や地域で行う震災訓練等の認知度

- 知っていた93.5% 知らなかった6.5%

区や地域で行う震災訓練等の参加経験

- 参加したことがある87.3% 参加したことがない12.7%

区や地域で行う震災訓練等の参加希望

- 参加したい88.3% どちらでもない11.4% 参加したくない0.3%

フォーラムに対する感想

- 良かった80.2% どちらとも言えない19.1% 良くなかった0.6%

自由意見で多かった感想

- 若い世代の参加が必要。
- 日ごろからの地域でのコミュニケーションが重要。
- 津波のときに、高層ビルに避難できるようにしてほしい。
- 地域と学校との関わりが必要。
- 子どもの地域防災教育が必要。
- 被災地の話が聞けて良かった。
- 地域防災の話をもっと聞きたかった。
- 個々人の地域住民の防災意識が低い。
- 地域役員の高齢化が心配

その他の自由意見

- 実際の被災者や警察・自衛隊・ボランティアの話も聞きたかった。
- 被災地報告は、マスコミ報道で知っているので不要。
- 府庁がWTCへ移転したら、大阪市東部の指揮が取れるのか心配。
- ハード面の整備よりソフト面のほうが大切。
- 学校で授業の一環として、地域防災を教えてほしい。もっとPTAに働き掛けてほしい。
- 防災意識が高まっている今が、意識改革のチャンス。
- 原発の話もして欲しい。
- 台風の話も聞きたかった。
- マンションの情報は、町会では無理。
- 校区にこだわらない現実的な避難所の設定。

フォーラムから見えてきたもの

水害対策の必要性

- 浸水被害に対する備えの確認・調査
- 東南海・南海地震想定見直しに伴う防災マニュアルの改訂

若い世代参加の必要性

- 区の実施する震災訓練への小中学生参加促進
- 小中学校と協働した防災教育の検討

連携強化の必要性

- 民間事業者との協力関係確認
- 地域と事業者の新たな関係構築

水害対策の必要性

浸水被害に対する備えの確認・調査

- 津波避難ビルに相当する建物の情報収集
- 収容避難所における備蓄物資、資機材庫の上階への移動可否の調査・検討

東南海・南海地震想定見直しに伴う防災マニュアルの改訂

- 東成区市民防災マニュアルの改訂

淀川氾濫時における洪水避難の基本方針

～平成16年東南海・南海地震津波等対策検討委員会～

